

第 1 章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

本市の学校施設は、昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて、急激な人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて集中的に整備が行なわれてきました。近年では平成 28 年度に学校給食センターが新たに整備され、本市が所有する公共建築物のうち、延床面積の約 50%を学校教育系施設が占めています。それらのほとんどが建設されてから 40 年を超えており、全体的に老朽化が進行している状況であると言えます。今後、老朽化した学校施設の修繕や建替えに多額の費用が必要になると考えられており、これらの適正な維持管理が課題となっています。

(2) 目的

岩倉市学校施設長寿命化計画は、本市が所有する学校施設について、上記の背景や岩倉市教育振興基本計画（平成 28 年度）を踏まえて学校施設を総合的な観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修や建替えをするとともに、優先順位を設定しつつ、それに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的としています。

なお、本計画は岩倉市公共施設等総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画として位置づけます。

(3) 計画期間

計画期間は、上位計画である岩倉市公共施設等総合管理計画と整合を図り、平成 30 年度（2018 年度）から平成 68 年度（2056 年度）とし、5 年ごとに計画の見直しを行うことを基本とします。

計画期間

平成 30 年度（2018 年度）から平成 68 年度（2056 年度）までの 39 年間

(4) 対象施設

本計画は、小学校、中学校、学校給食センターを対象施設とします。

対象施設	施設数
小学校	5 校
中学校	2 校
学校給食センター	1 施設